

# 人間関係論

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 香川 由美 助教		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野		
担当教員	香川 由美 助教		
対象学年	1	区分・時間数	講義 10コマ 15時間
期間	後期		演習 0コマ 0時間 実習 0コマ 0時間

## ・学修方針（講義概要等）

人間関係の基本は「自分自身を知る」ことである。一般的に人は他者に照合することによって自分自身を認識し、他者の存在によって自分の社会的役割を認識する。保健医療の現場では専門職が職務をスムーズに遂行する基盤として良好な人間関係を構築することが不可欠である。また、対象者とのような人間関係を構築できるかが援助の質を左右することにつながる。医療の質や倫理が問われている今、医療人として人間関係のあり方やその特徴を理解することは重要な学修課題であり、本科目によって良好な人間関係を構築する方法を習得する。

## ・教育成果（アウトカム）

人間関係に関する基礎知識を理解し、基礎的なコミュニケーションスキルを会得することにより、医療人としての職務を遂行する際に良好な人間関係を構築できる応用力を修得する。  
(ディプロマポリシー：1,2,4,6)

## ・到達目標（SBO）

1. 自己概念を理解する。
2. 対人認知に関わる要因を説明できる。
3. アイデンティティについて説明できる。
4. 社会と個人の関係について説明できる。
5. 集団と個人の関係について説明できる。
6. 集団意思決定について説明できる。
7. リーダーシップについて説明できる。
8. コミュニケーションの構成要素と役割を説明できる。
9. チーム医療における人間関係について説明できる。

・ 講義日程  
【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
9/5	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	<p>イントロダクション 【双方向授業】【ICT (WebClass)】</p> <p>1. 人間関係論を学修する意義について説明できる。</p> <p>自己の理解【双方向授業】</p> <p>1.自己概念について説明できる。</p> <p>2.自己評価について説明できる。</p> <p>3.自分の強みについて説明できる。</p> <p>4.リフレーミングのスキルを身に着ける。</p> <p>事前学修：講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまともておく。</p> <p>事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。</p>
9/12	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	<p>対人認知 【双方向授業とグループワーク】【ICT (WebClass)】</p> <p>1.印象形成に関わる要因を列挙できる。</p> <p>2.ステレオタイプについて説明できる。</p> <p>3.対人認知の歪みに関わる要因を列挙できる。</p> <p>事前学修：講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまともておく。</p> <p>事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。</p>
9/19	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	<p>対人魅力・対人葛藤 【双方向授業】【ICT (WebClass)】</p> <p>1.対人魅力に関わる要因を列挙できる。</p> <p>2.対人葛藤について説明できる</p> <p>3.親密な関係の崩壊について説明できる。</p> <p>4.葛藤への対処について説明できる。</p> <p>事前学修：講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまともておく。</p> <p>事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。。</p>

9/26	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	<p>社会の中の個人 【双方向授業とグループワーク】</p> <p>1.個人的アイデンティティについて説明できる。</p> <p>2.社会的アイデンティティについて説明できる。</p> <p>3.内集団ひいきについて説明できる。</p> <p>事前学修：講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまともておく。</p> <p>事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。</p>
10/17	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	<p>集団の中の人間① 【双方向授業】 【ICT (WebClass)】</p> <p>1.集団形成に関わる4つの懸念について説明できる。</p> <p>2.集団規範と集団圧力について説明できる。</p> <p>3.同調について説明できる。</p> <p>4.社会的促進と社会的手抜きについて説明できる</p> <p>5.傍観者効果について説明できる。</p> <p>6.逸脱行為に影響する要因について説明できる。</p> <p>事前学修：講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまともておく。</p> <p>事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。</p>
10/24	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	<p>集団の中の人間② 【双方向授業とグループワーク】 【ICT (WebClass)】</p> <p>1.集団意志決定について説明できる。</p> <p>2.集団極化について説明できる。</p> <p>3.集団浅慮について説明できる。</p> <p>4.ブレインストーミング、コンセンサス法を用いた意思決定ができる。</p> <p>事前学修：講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまともておく。</p> <p>事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。</p>

10/31	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	<p>集団の中の人間③ 【双方向授業】 【ICT (WebClass)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.リーダーシップについて説明できる。</li> <li>2.リーダーシップの発生過程について説明できる。</li> <li>3.リーダーシップの種類を説明できる。</li> </ol> <p>事前学修：講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまともておく。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。</p>
11/7	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	<p>コミュニケーション①【双方向授業】 【ICT (WebClass)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.コミュニケーションの構成要素を列挙できる。</li> <li>2. ミスコミュニケーションについて説明できる。</li> <li>3.コミュニケーションを妨げるバイアスについて説明できる。</li> <li>4.アサーティブに自己主張できる。</li> </ol> <p>事前学修：講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまともておく。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。</p>
11/14	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	<p>コミュニケーション②【双方向授業】 【ICT (WebClass)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.Computer-mediated communication(CMC)の特性について説明できる。</li> <li>2.CMCにおけるコミュニケーションの正確性について説明できる。</li> <li>3.個人のソーシャルネットワークにおける CMC と対面でのコミュニケーションの違いについて説明できる。</li> </ol> <p>事前学修：講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまともておく。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。</p>

11/21	木	2	心理学・ 行動科学分野	香川 由美 助教	<p>チーム医療における人間関係【双方向授業】【ICT (WebClass)】</p> <p>1. チーム医療における医療従事者間、患者との人間関係について説明できる。</p> <p>2. チーム医療におけるコミュニケーションの役割について説明できる。</p> <p>まとめ</p> <p>1. これまでの講義で得た知識と経験をもとに、良好な人間関係を構築する方策について説明できる。</p> <p>事前学修：チーム医療が必要とされるようになった社会背景についてまとめておく。</p> <p>事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。提示された課題についてレポートを提出する。</p>
-------	---	---	----------------	----------	--

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	補訂版 社会心理学	池田謙一他	有斐閣	教
参	カラー版徹底図解 社会心理学	山岸俊男監修	新星出版社	参

・成績評価方法

【総括的評価】

各回の提出物（50%）、レポート（30%）、確認テスト成績（20%）で評価する。レポート課題と提出物の評価基準は講義時に提示し、基準に基づいて評価する。

【形成評価】

講義毎に理解度チェックを WebClass で実施し、理解度、到達度を確認する。結果は WebClass からフィードバックする。理解度チェックの結果は成績には反映しない。

・特記事項・その他

本科目では、各回の講義で人間関係を理解するために必要な社会心理学の概念を双方向授業によって学ぶ。各回の講義内容を WebClass の理解度チェックで復習する。各問題の正答とポイントは WebClass にてフィードバックする。また、各回講義の最後に提示する課題テーマについての考察をコメントシートとして提出する。解説とフィードバックは次回講義の初めに行う。

講義最終日の事後学修として、WebClass で確認テストを実施する。結果は WebClass にてフィードバックする。科目全体のまとめとしてレポートを作成して WebClass に提出することを求める。結果は WebClass にてフィードバックする。

事前学修：シラバスに記載されている次回の講義内容を確認し、授業で取り上げる内容に関わるキーワードについて教科書等を用いて調べままとめておく。

事後学修：講義内容を復習したうえで理解度チェックを行い、理解が不十分であった事項については配布資料、教科書等を用いて理解を深める。

各コマに対して、事前・事後学修に 90 分以上を要する。更に、レポート作成に 7 時間程度、確認テスト準備に 3 時間程度の総復習の時間を確保する必要がある。

【その他】

本科目では双方向授業、グループワークを行うが、方法については感染予防を鑑みて、状況に応じて適宜変更する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC (Microsoft Surface Pro FJY-00014)	1	講義資料の提示
講義	書面カメラ・DVD プレーヤセット	1	講義資料の提示
講義	デスクトップ型 PC (EPSON MR4800E)	1	講義資料の作成